

ガステーブル 取扱説明書

商品コード

110-1050型
110-1051型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガステーブルをお買い上げいただきましてありがとうございます。

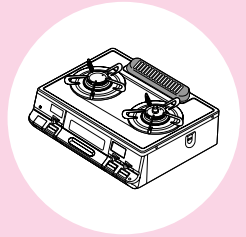
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

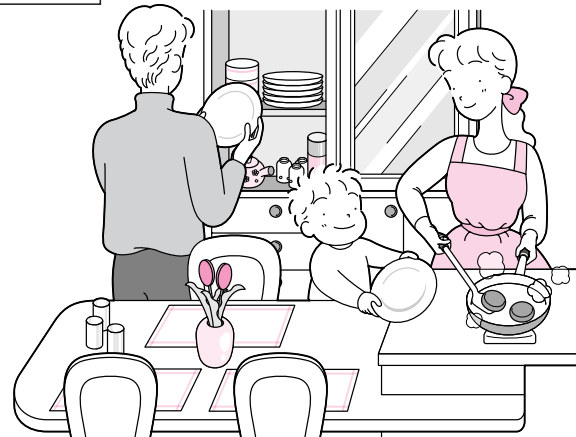
本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型 式 名

LW2215L
LW2215R

スーパ
すずか



お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照します。

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。


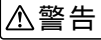
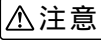
大阪ガス株式会社

大阪ガス

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	危険・警告・注意以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者および購入者から機器を譲渡された人なども含みます。危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。(例：ガス漏れのおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味
	特定しない一般的な危険・警告・注意
	高温注意
	発火注意
	特定しない一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う

特に注意していただきたいこと・・・1~6

1. 使用前に

- 機器の組立てと設置・・・7~12
 - ・組立てかた・・・7
 - ・乾電池の取り付けかた・・・8
 - ・設置場所・・・9
 - ・周囲の防火措置・・・9~10
 - ・ガス接続について・・・11
- 各部のなまえ・・・12

2. 使いかた

- 点火・消火のしかた(こんろ)・・・13~14
- 点火・消火のしかた(グリル)・・・15~16
- 安全機能・温度センサーについて・・・17~18
- 中華鍋・鍋の選びかたについて・・・19

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・20~22
 - ・点検・・・20
 - ・お手入れ・・・21
 - ・お手入れ後のセット方法・・・22
- 故障かな？と思ったら・・・23~24
- アフターサービス・・・25
- 仕様・・・26
- 上手な魚の焼きかたQ & A・・・27

特に注意していただきたいこと

特に注意していただきたいこと

⚠ 危険

ガス漏れ時の処置

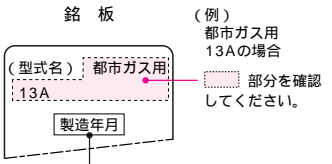
- ① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
 - ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
 - ③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。
- 上記①～③の処置が終わるまで絶対に火をついたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。
 - 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



⚠ 警告

使用ガスについて

- 必ず銘板（機器右側面に貼付）に表示しているガスの種類（ガスグループ）を使用する。
- 表示以外のガスで使用すると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- 転居された場合にも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。

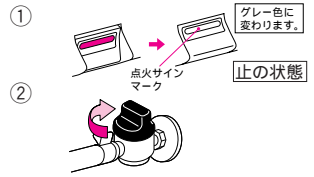


わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記の手順に従ってあわてずすみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。
- ① バーナーの火を消す。
(点火/消火ボタンを「止の状態」にする。)
 - ② ガス栓を閉じる。



- 再使用するときは、13ページからの『使いかた』の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

⚠ 警告

火災の予防

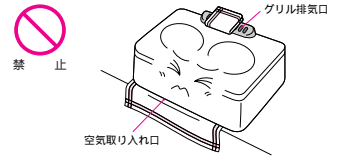
- 火をつけたまま離れたり外出・就寝しない。特にグリル使用中は注意してください。魚が燃え上がることがあります。火災のおそれがあります。



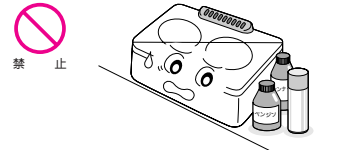
- 機器の上や周囲に燃えやすいもの（カーテン・新聞紙・ティッシュ・ふきんなど）を近づけない。また、新聞紙やビニールシートなど燃えやすいものを機器の下に敷かない。火災のおそれがあります。



- グリル排気口の上にふきんなどをのせたりふさいだりしない。また、ふきんなどでこんろ下の空気取り入れ口をふさがない。火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。



- 機器の周囲でスプレー、ベンジン、ガソリンなど引火のおそれがあるものを使用しない。また、周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない。引火して火災になるおそれや熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器を分解したり、修理・改造を行わない。異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。



ガス事故防止

- 使用時の点火および使用後の消火を必ず確かめ、使用後は機器のガス栓を閉じる。また、使用中も正常に燃焼していることを確かめる。火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。



特に注意していただきたいこと

特に注意していただきたいこと

警告

周囲の防火措置（機器の設置）について

- 機器設置の際、壁などの可燃物との離隔距離を確保しているか確認する。
 ⇨9ページ『周囲の防火措置【防火措置1】』を参照してください。
- 可燃性の壁との距離が確保できない場合は必ず指定の防熱板を取り付ける。
- 防熱板は取付説明書（別売防熱板に付属）に従い、正しく取り付ける。
 防熱板の取り付けについては、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
 ⇨10ページ『周囲の防火措置【防火措置2】』を参照してください。
- チャオバーナーは壁側の反対にするか、壁からの離隔距離を十分にとる。
 ⇨9ページからの『周囲の防火措置』を参照してください。
 （110-1050型は左側、110-1051型は右側がチャオバーナーになっています。）
壁などが異常に過熱され、発火・火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。
- 機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を付けるなど）については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談する。
設置基準上問題になる場合があります、火災になるおそれがあります。
- 引火性の危険物（ガソリン、灯油、ベンジン、接着剤など）を機器の周囲で保管したり、取り扱う室内には設置しない。
火災のおそれがあります。

ガス接続について

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格マークまたは、JISマークの入っているもの）を使用し、赤い線まで差し込んでゴム管止めとしっかりと止める。



- ガスコードを使用する場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する。



- ゴム管は高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして機器の下を通したり、機器に触れないように使用する。



- ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない。



- ひび割れたり、差し込み口がゆるくなったゴム管は使用しない。

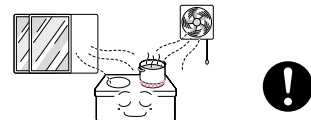


- ゴム管はときどき（約6ヶ月程度）点検し、古くなったゴム管は新しいゴム管に交換する。
ガス漏れの原因になります。

注意

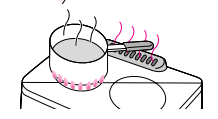
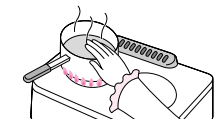
ガス事故防止

- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。
他の燃焼機器と同時に使用した場合など不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



やけどに注意

- 点火操作時や使用中は、バーナー付近に顔や手および衣類などを近づけない。
衣類が燃えたり、やけどのおそれがあります。
- 使用中、使用直後は操作部以外はさわらない。また、鍋やフライパンの取っ手などが熱くなっている場合があるため注意する。
やけどのおそれがあります。
- グリル使用中は、グリル排気口から高温の排気熱が出るため、手や顔を近づけない。
やけどのおそれがあります。



- 魚を取り出すときなど、グリルとびらガラス部にさわらない。また、グリル水入れ皿を引き出すときは、グリルとびら取っ手以外はさわらない。
やけどのおそれがあります。

- グリル使用中は、鍋やフライパンの取っ手をグリル排気口に向けて使用しない。また、強火で使用する場合、鍋やフライパンなどの取っ手に注意して火力を調節する。
やけどのおそれや取っ手の損傷の原因になります。

- グリル使用中および使用直後は、グリル水入れ皿の水が高温になっているため、グリル水入れ皿を持ち運ぶ際は水がこぼれないよう注意する。
やけどのおそれがあります。

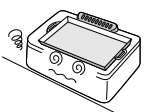



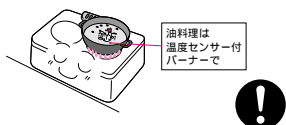


- みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温めなおしてください。
強火で急に温めなおすと鍋底に沈んだみそが突然噴きあがり、鍋がはねあがってやけどをするおそれがあります。

《特にだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。》

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

使用上の注意

- こんろをおおような鉄板や直径34cm以上の鍋は使用しない。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。
- 衣類の乾燥や炭火をおこなすなど調理以外の用途には使用しない。
火災のおそれや機器損傷の原因になります。
- 油料理は必ず温度センサー付バーナーを使用する。
(温度センサーが付いていないバーナーは、天ぷら油過熱防止機能がはたらきません。)
火災のおそれがあります。
- 魚などの焼きすぎに注意する。(魚などが燃え、グリル排気口から炎が出ることがあります。)
火災のおそれがあります。
- グリル内に食品屑、布などがあると発火するため、使用前に必ず点検する。
火災のおそれがあります。
- グリルを使用するときは、グリル水入れ皿に必ず約200mlの水を入れる。
また、続けて使用するときはその都度必ず水を補給する。ただし、水の表面に脂が多くなったら水を入れ替える。
火災のおそれや異常過熱により機器焼損の原因になります。
- グリル水入れ皿に水以外のもの(アルミはくや市販のグリル石など)を入れて使用しない。
火災のおそれや機器焼損の原因になります。
- グリル使用中は、グリルとびらを完全に奥まで押し込む。
異常過熱によるやけどのおそれや機器の変形・変色の原因になります。
- グリル使用中および使用直後は、グリルとびらがガラスに水をかけない。
グリルとびらがガラスが割れてけがをすおそれがあります。
- トッププレートに水をためたり、機器内に水をこぼしたりしない。
機器の故障の原因になります。
- グリルとびらに重いものを乗せたり、強い力を加えたり、物をつつたりしない。
グリルとびらがはがずれ、けがのおそれや機器損傷の原因になります。
- トッププレートがフッ素樹脂加工のため、焼網の使用はさける。
フッ素樹脂の損傷の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

日常の点検・お手入れについて

- お手入れ時は手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。また、21~22ページの『点検・お手入れ』で指定している部品以外はさわらない。
やけどやけがのおそれがあります。
- バーナーキャップを水洗いした後は、水気をよく切ってからセットする。
異常燃焼や機器の故障の原因になります。

補助具について

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しない。
- 市販されているアルミはく製の受け皿は使用しない。無理に使用しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。

不安定な場所での使用禁止

- キャンピングカーや船舶など不安定な場所で使用しない。
調理中の鍋などがすべり落ちてやけどのおそれがあります。

子供に注意

- 幼児や小さな子供にさわらせないように注意する。
思わぬ事故の原因になります。

お願い

お手入れについて

- バーナーに煮こぼれがかかったときは、こまめにお手入れを行ってください。
煮こぼれがかかったまま放置すると炎口が詰まり、機器内部で燃えることにより機器焼損のおそれがあります。

機器の設置について

- 冷暖房装置の吹き出し口の近くや強い風が吹き込む場所には設置しないでください。
火が途中で消えたり不完全燃焼の原因になります。

長期間使用しない場合

- ガス栓を閉じてください。(長時間使用しない場合もガス栓を閉じてください。)
- 各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 乾電池を電池ケースより抜いてください。
乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

乾電池について

- 乾電池の⊕⊖方向を間違えないでください。
点火できなくなります。
- 乾電池は古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。
乾電池の破裂や液漏れの原因になります。

その他

- フードの清掃の際などこんろの上には絶対に乗らないでください。

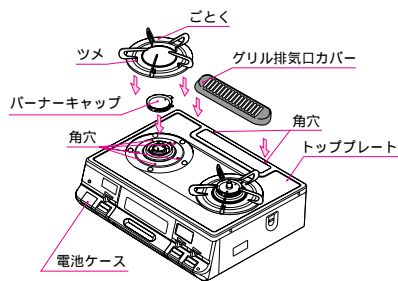
この機器は一般家庭用です。

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

1 使用前に 機器の組立てと設置

組立てかた

包装を取り除き組立てます。
(テープ類は取りはずしてください。)



注意

- グリルケース内の梱包材などは、必ず取り除く。
火災のおそれや機器焼損の原因になります。

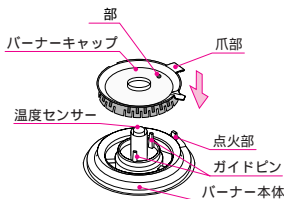
ごとは裏側に位置決め用ツメが5ヶ所ありますので、トッププレートの角穴にそれぞれ合わせて組み付けてください。



グリル排気口カバーは後側に位置決め用のツメ2ヶ所がありますので、トッププレートの角穴に合わせて組み付けてください。

バーナーキャップの取り付けかた

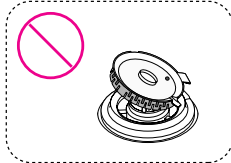
- 図のようにバーナーキャップの 印のある爪部を点火部に合わせ、バーナー本体のガイドピンがバーナーキャップに合うように確実にセットしてください。バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないかを確認してください。



お願い

- バーナーキャップを正しく取り付けます。
バーナーキャップを正しくセットしなかった場合、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損するおそれがあります。

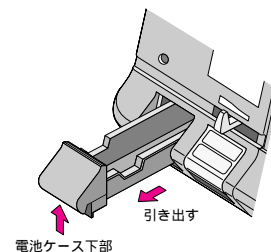
チャオバーナー用と標準バーナー用(温度センサー付)は形が異なりますので注意してください。



乾電池の取り付けかた [単1形 (1.5V) 乾電池 2個使用]

1. 電池ケースの引き出す。
 - 電池ケースの下部を持って引っばると引き出せます。

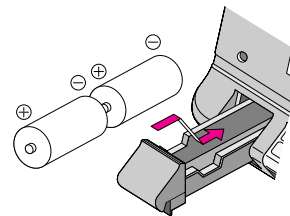
- 電池ケースを引き出すときはゆっくり引き出してください。強く引き出しますと破損の原因になります。
- 電池ケースは、途中で止まる仕様になっています。



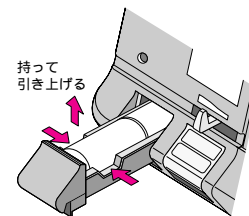
2. 乾電池を取り付ける。
 - 乾電池単1形 (1.5V) を2ヶ、⊖ 側を奥方向に入れてください。

お願い

- 乾電池の ⊕・⊖ 方向は間違えないでください。
点火できなくなります。

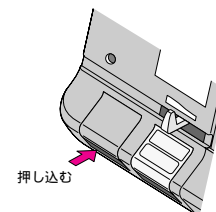


- 乾電池が入っている場合は、乾電池側面を持って(→⊕←)引き上げると取り出しが出来ます。



3. 電池ケースをセットする。
 - 電池ケースを押しながらカチッと閉まるまで押し込む。

- 付属の乾電池は、工場出荷時に納められたもので寿命が短くなっている場合があります。
- 乾電池の寿命は、通常の使いかたで約1年です。お取り替え時は、同等の新しい乾電池(単1形)を使用してください。



1 使用前に 機器の組立てと設置

設置場所について

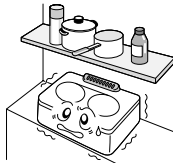
△注意

- 水平で安定した場所および落下物の危険のない場所に設置する。

機器の上に落ちたものが燃え、火災のおそれがあります。



禁止



- 強い風の吹き込む場所には設置しない。

点火不良や機器内部の損傷および安全装置が正しくはたらかない原因になります。

- 湯沸器の下には設置しない。設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をとる。

湯沸器の不完全燃焼防止装置がはたらき、火がつかない場合があります。

○お願い

- 樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。照明器具のかさなどが変形するおそれがあります。

周囲の防火措置

- 設置場所の周辺に可燃物（木製の壁やたななど）がある場合。

△警告

- 可燃性の壁に直接タイルやステンレス板を貼り付けた場合でも伝熱のため可燃物が炭化し、火災となるおそれがありますので必ず「防火措置1または2」を行う。

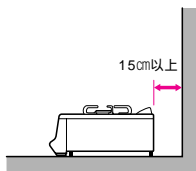
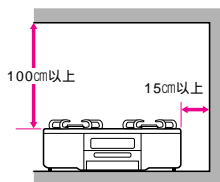
- チャオバーナー側は壁から離す。

火災のおそれがあります。



防火措置1

- 可燃物（壁・たななど）から離す。印の寸法はトッププレート面より上方の寸法をさす。



防火措置2

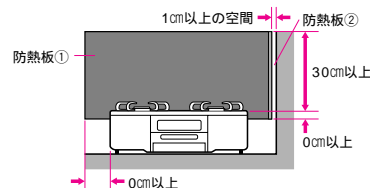
- 防火措置1の条件を満たせない場合。

△警告

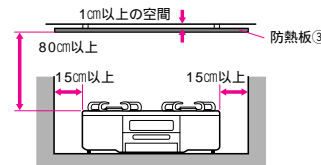
- 壁から「防火措置1」の離隔距離がとれない場合は、必ず大阪ガス指定の防熱板（別売品）を取り付けて防火措置を行う。

火災のおそれがあります。

側面・背面

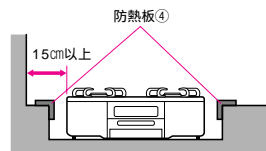


上面



印の寸法はトッププレート面より上方の寸法をさす。

調理台・流し台などの側面



別売防熱板

別売防熱板の種類（ステンレス製0.5mm）

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
①	4015-0100-0206	350	600
②	4015-0100-0205	350	535
③	4015-0100-0207	550	900
④	4015-0100-0108	150	500

- 防熱板は4種類用意しております。お求めは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に連絡してください。防熱板の取り付けについては、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

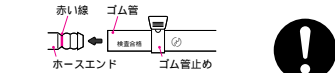
1 使用前に 機器の組立てと設置

ガス接続について

■ガス接続は下記事項を必ず守り接続してください。

ガス接続について

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格マークまたは、JISマークの入っているもの）を使用し、赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める。



- ガスコードを使用する場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する。

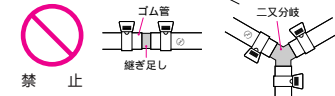


- ゴム管は高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして機器の下を通したり、機器に触れないように使用する。



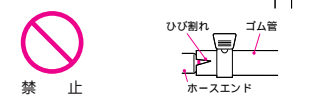
禁止

- ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない。



禁止

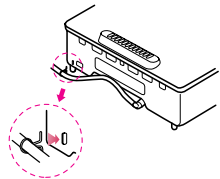
- ひび割れたり、差し込み口がゆるくなったゴム管は使用しない。



禁止

- ゴム管はときどき（約6ヶ月程度）点検し、古くなったゴム管は新しいゴム管に交換する。
ガス漏れの原因になります。

- ゴム管が機器後部を横切る場合は、付属のゴム管ホルダーにゴム管を通し、図のように機器後部の穴に差し込んで固定してください。

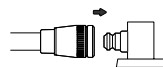


- 迅速継手を使用する場合は、ガス栓のゴム管口により接続具が異なります。接続はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼してください。

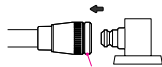
お部屋のガス栓について

- ガス栓が「開閉つまみのない「ガスコンセント）」の場合、下記の要領で「ガスコンセント」をガスコードなどに取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓するようになっています。

取り付け方法
(ガス栓を開けるとき)



取りはずし方法
(ガス栓を開めるとき)



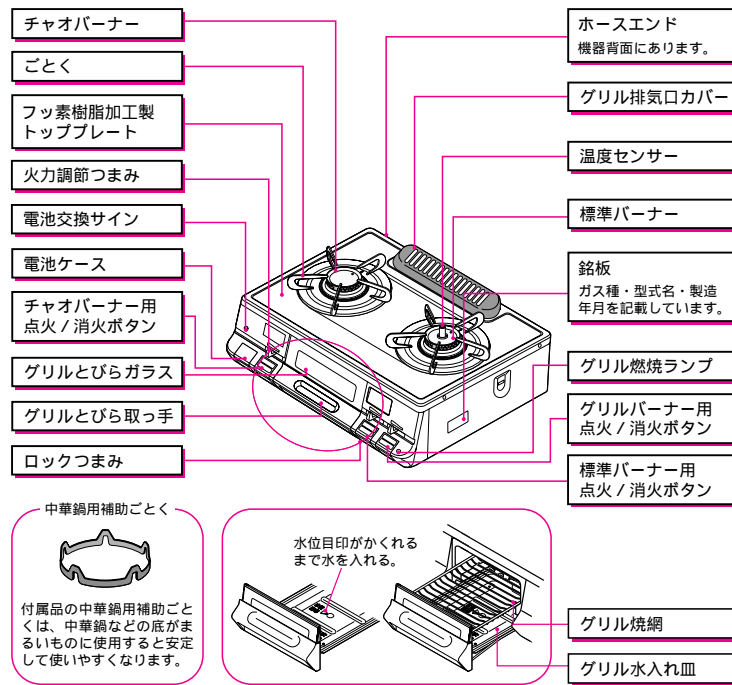
ガスコードなどのガス栓用ソケット側を上図のようにガスコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ソケットをはずすときは、コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引きます。

1 使用前に 各部のなまえ

各部のなまえ

図は110-1050型です。110-1051型はチャオバーナー、標準バーナー（温度センサー付）が左右反対になります。



[グリルとびら部拡大図]

グリル使用時には、必ず約200mlの水を入れてください。

特長

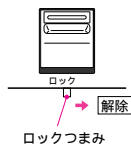
標準バーナー	天ぷら油過熱防止機能 油の温度が高くなりすぎると自動消火します。(P17参照)	焦げつき消火機能 焦げつきはじめると自動消火します。(P18参照)	こんろ消し忘れタイマー 点火後約2時間で自動消火します。(P17参照)	その他 電池交換サイン 電池の交換時期をお知らせします。(P20参照)
	グリル消し忘れタイマー 点火後約15分で自動消火します。(P17参照)	燃焼ランプ グリルバーナーの着火を検知してランプが点灯します。(P15参照)	グリル水切れ検知センサー グリル水入れ皿の水が少なくなると自動消火します。(P18参照)	

2 使いかた 点火・消火のしかた(こんろ)

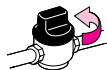
点火・消火のしかた(こんろ)

点火前に

- ロックの位置にあるときはロックを解除する。



- 消火の状態ではガス栓を全開にしてください。



ロックって？

- 小さなお子様のいたずら防止や使用しないときのために、点火/消火ボタンを作動させない機構です。

- 止(消火)の状態ではロックつまみをロック位置にしてください。
- 点火(開)の状態ではロック操作を無理にしないでください。故障の原因になります。



1 点火

点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し。



- パチパチとスパークして点火します。点火した後、数秒間押し続け着火を確認してから手を離してください。配管内に空気が入っていて点火しにくい場合があります。配管内の空気が抜けるまで点火操作を繰り返してください。

- 点火中、点火後は点火サインマークがオレンジ色に変わります。点火サインマークは点火/消火ボタンの操作をするだけで色が変わります。着火の有無とは関係ありませんので注意してください。

- 火力調節つまみが弱火側にある場合、つまみは強火の方向へ動きます。チャオバーナーのみ火力を少し弱くして点火するようになっているためつまみが強火側にある場合弱火の方向へ動きます。

- 標準バーナーは約2時間使用すると安全のため自動消火します。(こんろ消し忘れタイマー)

△注意

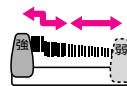
- 使用するバーナーの点火/消火ボタンを間違えて操作しない。
- 別のバーナーが点火し、火災のおそれがあります。
- 点火時バーナーに着火したことを確認する。
- 火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。

2 火力調節

火力調節つまみを左右に動かして調節する。

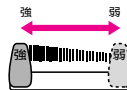
- 火力調節つまみを(強)方向へ動かすと火力は強く、(弱)方向へ動かすと火力は弱くなります。
- 炎を見ながら調理に適した位置に加減してください。
- 強火から弱火にするときは火力調節つまみをゆっくりと動かしてください。

[チャオバーナー]



- 火力調節つまみを(強)方向へ動かすと軽く途中で止まります。さらに火力を(強)にする場合は少し上にあけてから(強)方向へ動かしてください。

[標準バーナー]



お願い

- 弱火の火力を小さくしづれるようになっています。消し忘れに注意してください。
- 火力調節つまみはゆっくり操作してください。はやく操作すると消火したり赤火になる場合があります。

△注意

- 強火で使用する場合、鍋やフライパンなどの取っ手に注意して火力を調節する。
- やけどのおそれや取っ手部の損傷の原因になります。

揚げものをする場合(標準バーナー)

通常こんろとして使用しているとき、多い油を加熱すると、まれに低い温度で自動消火することがあります。再点火してください。

調理するときのコツ(標準バーナー)

予熱する場合

- 目玉焼きなどの料理をするときは、1分位予熱をしてください。
- 予熱時間が長すぎたり、短すぎたりすると安全機能がはたらいて弱火になったり消火する場合があります。



きんぴらごぼう・インスタント焼きそばなどをする場合

- 水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、途中で消火機能がはたらいて(焦げつきと判断)消火することがあります。このようなときは再点火してください。

カレー、ジャムなどの加熱をする場合

- トロミのある料理は沸騰するまで鍋を動かさないでください。
- 水分の少ないものは水を加えてください。
- 火力は中火位を使ってください。
- 沸騰後は中身の温度にムラができないように、ときどき混ぜてください。



2 使いかた 点火・消火のしかた(グリル)

点火・消火のしかた(グリル)

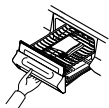
初めてグリルを使うときは、必ずグリル水入れ皿に約200ml(コップ1杯)の水を入れ、10分程度のから焼きをしてください。



グリル庫内の油を焼ききるため、煙やおいが出ても異常ではありません。

点火前に

- グリル内に食品屑、衣類があると発火するので使用前に必ず点検する。



火災のおそれがあります。

警告

- グリル排気口をふさがない。火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。

注意

- グリルを使用するときは、グリル水入れ皿に必ず約200mlの水を入れる。水を入れなくて使用しますと調理途中で自動消火します。(グリル水切れ検知センサー)
- 水以外のものを入れて使用しない。
- 安全のため、使用するたびに水を入れ替える。
- 魚などの焼きすぎに注意する。
- 続けて使用するとき、その都度、必ず水を補給する。ただし、水の表面に脂が多くなったら水を入れ替える。火災のおそれや機器焼損の原因になります。
- なべの取っ手などをグリル排気口へ向けない。
- 使用中は、グリルとびらは必ず奥まで押し込んで使用する。
- 使用中、使用直後はグリルとびら付近をさわらない。
- グリルとびらガラスに水をかけない。
- グリル使用中、使用直後の魚の出し入れや水の補給については、グリル水入れ皿などが熱くなっていますので、機器から取りはずさずに行ってください。やけどやけがおよび機器焼損の原因になります。

1 点火

点火 / 消火ボタンを止まるまでいっぱい押しす。



● グリル燃焼ランプ

- パチパチとスパークして点火します。グリル燃焼ランプが点灯し、着火を確認してから手を離してください。配管内に空気が入っていて点火しにくい場合があります。配管内の空気が抜けるまで点火操作を繰り返してください。
- 点火中、点火後は点火サインマークがオレンジ色に変わります。

注意

- 使用するバーナーの点火 / 消火ボタンを間違えて操作しない。別のバーナーが点火し、火災のおそれがあります。

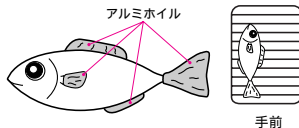
コツ

予熱

- 表面のごげやすいもの(つけ焼き、照り焼き、味噌漬けなど)や火の通りの悪い魚などは、予熱しないでそのまま焼いてください。
- 上記以外の魚や肉は、点火後約3分予熱し、温度があがってから材料を入れてください。

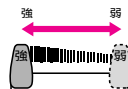
焼きかたのコツ

- 魚を美しく焼くには尾が手前になるように焼いてください。
- ごげやすい尾やひれなどには厚めに塩をふりかけ、アルミホイルでおおって焼いてください。



2 火力調節

火力調節つまみを左右に動かして調節する。



- 火力調節つまみを(強)方向へ動かすと火力は強く(弱)方向へ動かすと火力は弱くなります。
- 強火から弱火にするときは火力調節つまみをゆっくりと動かしてください。
- グリルとこゝろを同時に使用すると炎が赤色になることがありますが、異常ではありません。

ワンポイントアドバイス

いろいろな調理に合った火力や時間については、付属のクッキングブックをご覧ください。

3 消火

点火 / 消火ボタンを止まるまでいっぱい押しして手を離す



● 消灯
点火サインマーク グリル燃焼

注意

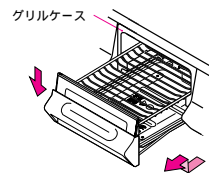
- 使用後の消火を必ず確かめ、機器のガス栓を閉じる。火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。



グリル水入れ皿の取り出しかたと取り付けかた

取り出しかた

- グリルとびらをゆっくりと手前に止まるまで引き出し、少し持ち上げて、再度引き出してください。グリル水入れ皿の水をこぼさないように注意してください。
- グリル水入れ皿は、グリルとびら取っ手と一体となっています。
- グリル水入れ皿は、ストッパーがついていますので、手前に引き出すと止まります。
- グリルとびらを引き出すと、グリルとびらガラスが下がります。

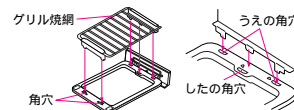


取り付けかた

- 取り出しかたの逆の手順で取り付けてください。
- 左右のグリルレールにグリル水入れ皿を入れ、奥に当たるまできっちりと入れてください。(グリルレールはグリルケースの下側にあります。)

グリル焼網の取り付けおよび高さ調整

- グリル水入れ皿の角穴に焼網の脚部を差し込んでください。
- 通常はしたの位置で使用してください。焼網はグリル水入れ皿の角穴の選別により高さを変えられます。
- 焼網は前と後がありますので注意してください。
- 焼き物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網にのせて焼いてください。



2 使いかた 安全機能・温度センサーについて

安全機能・温度センサーについて

安全機能のはたらき

●揚げものなどの油料理は温度センサー付バーナーで行ってください。

バーナー	安全機能のはたらき
全バーナー	立消え安全装置 風などで火が消えたら自動的にガスを止めます。 (標準バーナー・グリルバーナーは、ブザー音(ビー)でお知らせします。)
標準バーナー (温度センサー付)	焦げつき消火(ブザー音(ビー)でお知らせします。) 焦げつきまたは空だきの場合自動的にガスを止め、消火します。
	天ぷら油過熱防止(ブザー音(ビー)でお知らせします。) 約250℃で強火、弱火となりますがそれ以上に温度が高くなると自動的にガスを止め、消火します。
グリル	こんろ消し忘れタイマー(ブザー音(ビー)でお知らせします。) 点火後約2時間経過すると自動的にガスを止め、消火します。
	グリル水切れセンサー 空焼きなどによるグリル庫内の温度が異常に上がると自動的にガスを止め、消火します。 グリル消し忘れタイマー(ブザー音(ビー)でお知らせします。) 点火後約30分経過すると自動的にガスを止め、消火します。

安全機能がはたらいたとき

●点火/消火ボタンを「止の状態」にしてください。



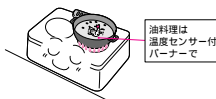
⚠️ 注意

●天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため、注意する。
やけどのおそれがあります。

揚げもの調理時の注意

⚠️ 注意

- 揚げもの調理するときは、200ml(コップ1杯)以上の油で使用する。
油が少なすぎると、機能が正しくはたらない場合があります。
- 揚げもの調理をされるときは、温度センサー(天ぷら油過熱防止機能)のついている標準バーナーを使用する。
火災のおそれがあります。



- 標準バーナーは、トッププレート・点火/消火ボタンに「揚げもの用」と表示してあります。
- 鍋の種類や油の量によって自動消火したときの油の温度は異なります。

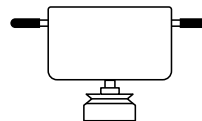
温度センサーの注意

- 強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。
- センサー部はいつも清潔にしてください。センサー部に汁やゴミが付着したときには水に布を浸し、固くしぼってからふきとってください。また、やかんや鍋などの底もきれいにしてください。温度センサーが作動しない場合があります。

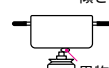
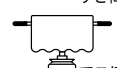
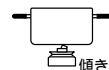
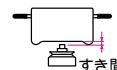


正しい鍋ののせかた

- 鍋底は温度センサー頭部に密着するようにのせてください。



- このような状態では使用しないでください。(正常に作動しなくなります。)



- 鍋の重さは温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)必要です。特に片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。
- 調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。煮もの調理から火をつけたまま天ぷら鍋をのせられたり、こんろから鍋をはずされている時間が長く続くと、温度センサーが正常にはたらかず自動消火することがあります。

焦げつき消火機能について

- 焦げつき消火時の焦げの程度は鍋の材質・火力・内容物の種類によって異なります。
- 弱火から強火に切り替えた場合にセンサーがはたらいて自動消火することがあります。再度点火すると正常に作動します。

こんな調理はチャオバーナーでしてください。

- 標準バーナーは温度センサーが約250℃になると消火するようになっています。下記のような調理は途中消火することがありますので、チャオバーナーを使用してください。
 - ・ウイナー炒めなど、から焼きに近い料理
 - ・焼網を使った料理(めざし・するめをあぶるなど)
 - ・いりもの料理(ごま・大豆など)
 - ・焼きもの料理(お好み焼き・たこ焼きなど)

グリル水切れ検知センサーについて

- 次のようなときには、火災や異常過熱のおそれがあるため、グリル水切れ検知センサーがはたらいて自動的に消火します。(故障ではありません。)
 - ・グリル水入れ皿に水を入れずに使用した場合
 - ・水の量が少なかった場合
 - ・使用中、時間を忘れて焼きすぎた場合(水の量が少なくなってきた場合)
 - ・調理途中でグリル水入れ皿を引き出したまま放置した場合
- グリル水切れ検知センサーがはたらいた場合
 - ・グリル水入れ皿の温度が下がるまで再使用できません。グリル水入れ皿に水を入れてしばらくまってから点火操作をしてください。
 - ・グリル水入れ皿の温度がまだ高いときは、点火操作はできますが、手を離すと火が消えますので注意してください。

使いかた

2 使いかた 中華鍋・鍋の選びかたについて







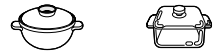
《標準バーナー（温度センサー付）に適した中華鍋・鍋の選びかたについて》

中華鍋について

- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- 中華鍋の種類や使いかたによっては鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。このようなときは、付属の中華鍋用補助ごとくを使用すると鍋が安定して使いやすくなります。付属の中華鍋用補助ごとくを使用しても安定しない鍋や温度センサーに密着しない鍋は使用しないでください。

鍋の選びかた

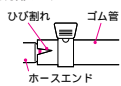
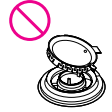
- 鍋底が温度センサーに密着しない鍋は使用しないでください。
鍋底が凹状になっているものを使用すると、温度センサーが正しくはたらかないことがあります。

料理区分	煮ものなどの一般料理	天ぷらフライなどの揚げもの料理
鍋などの種類		
アルミ製の鍋・文化鍋 		(油の量: 200ml以上)
フライパン 	×	(油の量: 200ml以上)
ホーロー・打ち出し・ステンレス(厚手)の鍋 		(油の量: 200ml以上)
ステンレス(薄手: 鍋底厚み2mm未満)の鍋 		×
無水鍋(ステンレス厚手鍋) 		(油の量: 200ml以上)
鉄製の鍋・中華鍋 		(油の量: 200ml以上)
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器 		×

: 適しています。 ×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)


3 点検・お手入れ、他 点検・お手入れ

点検

点検項目	点検のしかた	処置
ゴム管は?	ひび割れたり、接続部がゆるんでいませんか。 	新しいゴム管と交換してください。
乾電池は?	標準バーナー(温度センサー付)・グリルバーナー 使用時に電池交換サインが点滅していませんか? ●使用時電池が消耗してくると、電池交換サインが点滅します。さらに電池が消耗してくると、電池交換サインが点灯し、ブザー音(ビー)がなり消火し、使用できなくなります。 チャオバーナー ●電池が消耗してくると「パチパチ」というスパークの音が1秒間に約3回ぐらいの遅さになります。	新しい乾電池と交換してください。 (8ページ参照) 乾電池の寿命はおよそ1年が目安です。
各部品の取り付けは?	トッププレート・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバーなど正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。 (7ページ参照)
バーナーキャップは? (こゝろ部)	炎口が目づまりしていませんか。 傾いたり浮いたりしていませんか。 	お手入れのしかたをご覧ください。 (21ページ参照)
グリル水入れ皿は?	脂がたまっていませんか。	
温度センサーは?	センサー頭部が汚れたり、キズはありませんか。	

3 点検・お手入れ、他 点検・お手入れ

お手入れ

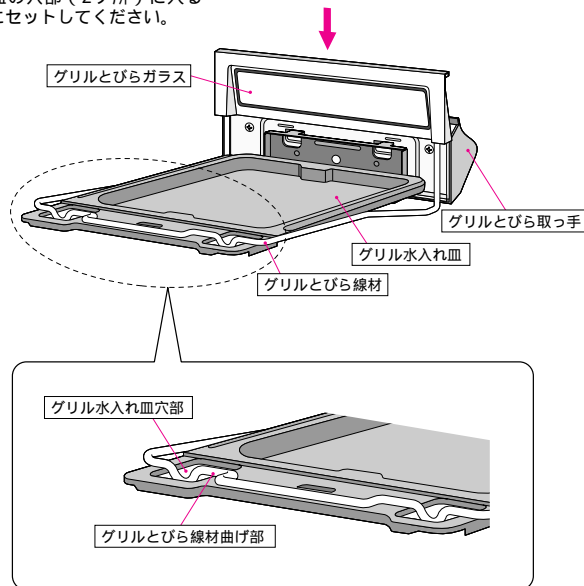
お手入れ箇所	お手入れのしかた
<ul style="list-style-type: none"> ●ごとき ●グリル排気口カバー ●グリル水入れ皿 ●グリル焼網 	<p>台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふきとった後、乾いた布で水気をふき取ってください。</p> <p>汚れが落ちにくいときは台所用中性洗剤で洗った後、乾いた布で十分水気をふきとってください。</p> <p>グリル水入れ皿はグリルとびら取っ手を取りはずすと掃除がしやすくなります。(22ページ参照)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●機器表面 ●操作部 ●グリルとびらガラス ●グリルとびら取っ手 	<p>乾いた布でよくふいてください。</p> <p>汚れが落ちにくいときは中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。その後、乾いた布で水気をふき取ってください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーキャップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れをされるときは必ず柔らかめの歯ブラシまたはスポンジを使ってください。特に溝部分を掃除してください。 ●煮こぼれしたときは必ずお手入れしてください。 ●万一、黒色がはがれても使用上問題はありません。バーナーキャップのセット方法はP7を参照して確実に取り付けてください。  <p>溝部分</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●温度センサー 	<ul style="list-style-type: none"> ●温度センサーの頭部はかたくしぼった布で汚れをふき取ってください。温度センサーのお手入れのときは強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
<ul style="list-style-type: none"> ●フッ素樹脂加工製トッププレート 	<p>スポンジや布などのやわらかいもので軽くふき取ってください。汚れが簡単に落ちない場合は、台所用中性洗剤や水で汚れた部分を湿らせ、しばらくしてからスポンジや布などでふき取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●汚れのたびに必ずお手入れをしてください。放置しますと汚れが取れにくくなりシミが残ることがあります。 ●金属タワシ、ナイロントワシ、ミガキ粉、ナイフなどの硬いものや台所用中性洗剤以外の洗剤(アルカリ洗剤)は表面の特殊加工を傷つけたり変色、シミの原因になりますのでご使用にならないでください。 ●お手入れの際に強くこすると表面の特殊加工がはがれる場合があります。 ●トッププレートとごとき、グリル排気口カバーが当たるところは、表面の特殊加工がはがれる場合があります。

点検・お手入れ

ガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。
けがをしないよう手袋などをして行ってください。

■グリルとびらガラスのセットのしかた

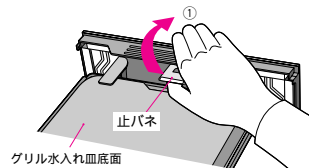
グリルとびら線材の曲げ部が水入れ皿の穴(2ヶ所)に入るようにセットしてください。



■グリルとびら取っ手の取りはずしと取り付け

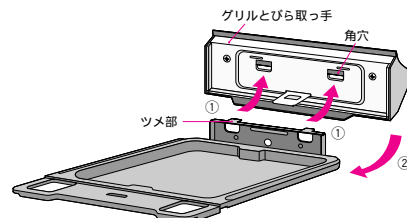
取りはずしかた

グリル水入れ皿を裏返して持ち、止バネを矢印①の方向へ倒すようにして止バネをはずす。



取り付けかた

グリル水入れ皿ツメ部を角穴にはめこみ(矢印①)、「カチッ」と音がするまでグリルとびら取っ手を矢印②の方向へ押さえる。










3 点検・お手入れ、他 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらただちに使うのをやめてください。
- 故障かな？と思ってよく調べると故障でない場合があります。まず、次のことをお調べください。

こんなとき	原因	参照ページ
点火しない。 点火しにくい。 火が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が全開になっていますか？ ●ゴム管が折れていませんか？ ●乾電池が消耗していませんか？ ●バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか？ ●バーナーキャップの炎口がつまっていませんか？ ●立消え安全装置が汚れたり、ぬれていませんか？ ●点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押ししていますか？ (数秒間押ししましたか？) ●グリル水切れ検知センサーがはたらいていませんか？ 	13 11 20 20 20 24 13・15 18
ガスのにおいがする。 いやなにおいがする。	<p>ただちに使うのをやめ、ガス栓を閉じてから原因を調べてください。</p> <p>△警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などありませんか？ 火災のおそれがあります。 <p>△注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゴム管の接続が不完全だったり、ひび割れや穴があいていませんか？ ガス漏れの原因になります。 ●煮こぼれや風などで火が消えていますか？ 	2 11 24
消火しやすい。 使用中火が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーに風が当たっていませんか？ ●煮こぼれがバーナーにかかっていますか？ ●立消え安全装置に煮こぼれや水滴がついていませんか？ <p><標準バーナー（温度センサー付）側></p> <ul style="list-style-type: none"> ●鍋が焦げたり、油の温度が高くなっていますか？ ●温度センサーが汚れていますか？ ●鍋を正しくのせていますか？ ●火をつけてから約2時間以上たっていますか？ ●鍋底が凸凹していませんか？ <p><グリルバーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリル水入れ皿の水が少なくなっていますか？ (グリル水切れ検知センサーの作動) ●グリル水入れ皿を引き出したままにいませんか？ ●火をつけてから約15分以上たっていますか？ 	24 24 24 17 20 18 17 18 18 17
黄炎で燃える。 炎が安定しない。 異常音をたてて燃える。	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか？ ●バーナーキャップ炎口がつまっていませんか？ 	20 20

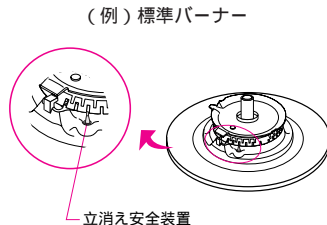
- 次のような現象は故障ではありません

●はじめてグリルを使用するとき、煙やにおいが出る。		部品についている油が焼けるためです。15ページをご覧ください。から焼きをしてください。
●パチパチとすべての点火装置で音がする。		同時点火方式となっていますので、1ヶ所の点火操作ですべての装置が「パチパチ」とスパークします。
●点火後や消火後にキシミ音がでる。		加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音です。
●こんろとグリルを同時に使うと炎が赤色になる。		焼き物の塩分（塩化ナトリウム）や水中に溶解しているカルシウムによるものです。
●消火時「ボン」と音がする。		火が消えたときの音で異常ではありません。
●消火しても数秒間火が残り、すぐに消火しない。		バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためで異常ではありません。
●こんろ燃焼時に点火部でポッポツと音がする。		火力によってはバーナー内部で音が鳴る場合がありますが異常ではありません。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に連絡してください。不完全な処置や異常がある状態で使い続けると事故のもとになります。

立消え安全装置について

- 風や煮こぼれで消火した場合は立消え安全装置が自動的にガスを止めます。（完全にガスが止まるまで数秒かかります。）
- 再び点火されるときは窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全になくなってから点火操作をしてください。
- 立消え安全装置に煮こぼれや水滴がついたときはきれいにふき取ってください。また、立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。（点火不良の原因になります。）



3 点検・お手入れ、他 アフターサービス

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 23～24ページ「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガステーブル
2. 大阪ガス商品コード
機器左側に貼付し 例 **(N) 110-1050 (U)**
大阪ガス株式会社
21-052-01-00025
てあります。
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証・補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後6年間です。
但し、最低保有期限の経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

3 点検・お手入れ、他 仕様

仕様

品名	ガステーブル	
商品コード	110-1050型	110-1051型
型式名	LW2215L	LW2215R
点火方式	連続スパーク点火	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置（全バーナー） ・天ぶら油過熱防止機能 ・焦げつき消火機能 ・こころ消し忘れタイマー（約2時間） ・グリル水切れ検知センサー ・グリル消し忘れタイマー（約15分） （標準バーナー） （グリルバーナー）	
外形寸法	高さ180mm×幅592mm×奥行490mm	
質量（本体）	13kg	
付属品	取扱説明書・保証書・乾電池（単1形乾電池（1.5V）×2個） お問い合わせ先一覧表・クッキングブック・ゴム管ホルダー・中華鍋用補助ごとく	

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量 kW			全点火時 ガス消費量	ガス接続
	個別ガス消費量				
	チャオバーナー	標準バーナー	グリルバーナー		
都市ガス用13A	5.23 (4,500kcal/h)	2.97 (2,550kcal/h)	3.31 (2,850kcal/h)	10.1 (8,700kcal/h)	9.5mm ガス用ゴム管
LPガス用	4.42 (0.317kg/h)	2.68 (0.192kg/h)	3.43 (0.246kg/h)	9.63 (0.690kg/h)	

本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますご了承ください。

あえ三つぎ！
グリルで
上手な魚の焼きかたQ & A
にゃ

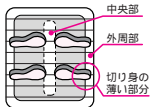
グリル水入れ皿に水を入れる。
予熱をする。



火力を有効に使うためのワンポイントアドバイス

《火力が強い場合》

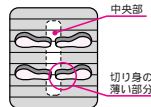
焼き網の中央部と外周部は、火力が少し弱くなります。



尾や切り身の薄い部分を外周部に置いて焼く。

《火力が弱い場合》

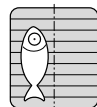
焼き網の中央部は、火力が少し弱くなります。



尾や切り身の薄い部分を中央部に置いて焼く。

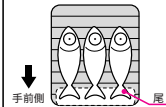
《1尾だけ焼く場合》

焼き網の中央部は避け、少し左右に寄せて焼く。



《姿のまま焼く場合》

魚の尾を焼き網の手前側に寄せて焼く。



焼き網の手前側は火力を弱くしているため、尾が炭化したり取れたりしにくくなります。

Q. すぐこげてしまうんだけど？
A. 上記ワンポイントアドバイスを参考に焼く。
こげやすい尾やひれなどには厚めに塩をふるか、アルミ箔でおおって焼く方法もあります。

Q. 焼き網にくっついて形くずれしてしまうんだけど？
A. 焼き網に油をぬる。予熱する場合は、予熱後に油をぬる。
おはしなどで焼き網の下側から魚を数カ所持ち上げ、焼き網から離してから取り出す。

Q. みそ漬けや粕漬けを焼く場合は？
A. みそや粕を十分にふきとって焼く。

Q. 塩焼きの場合は？
ふり塩のタイミングは？

白身魚 (タイ・カレイなど)	焼く 10～30分前
青背の魚 (サバ・アジなど)	焼く 30分～1時間前

青背の魚は生きさみ分がでるので、一旦ふきとった後、更にふり塩をするとよい。

- 貝(殻付き2枚貝)を焼く場合は、貝の上にアルミ箔をかぶせて焼くと、殻の表面がはく離せず、きれいに焼けます。
- 切り身の魚を焼く場合は、皮の部分を上にして焼くと、きれいにできます。
- めざしなどの干し物類は、頭部の炭化を少なくするため図のように置いてください。

